

コース 18 いわすげやま 岩菅山

リーダー CL T/Y SL T/U

実施日 平成27年6月29日(月) 天候 快晴

参加者 20(男性 6 女性 14) グレードC

コースポイント



ポイント	到着時間	出発時間	備考
秋葉区役所前		6:00	米山 SA、道の駅やまうち経由
発哺温泉駅	9:30	9:40	ゴンドラ片道 900 円乗り込む
東館山頂駅	9:50	10:05	準備体操、集合写真
寺小屋登山口	10:30	10:35	寺小屋スキー場最高部
金山沢ノ頭	10:45	10:50	樹林の中を過ぎ眺望が開ける
ノッキリ	12:30	12:35	ガレ場の急坂に向かう
岩菅山頂 2,295m	13:20	13:50	雲が垂れこめ眺望一部見えず
ノッキリ	14:20	14:25	一ノ瀬方面の下山道に入る
岩菅山登山口	16:10	16:20	全員無事下山
秋葉区役所前	19:25		帰路は同ルート。新津駅西口、車場 7&11

山行等概要(幹事のコメント)

- 梅雨の季節山行でしたが、快晴に恵まれました。志賀高原発哺温泉からゴンドラで標高二千Mの寺子屋スキー場が登山口です。岩菅山 2295m ですから 300m の山を登る楽な登山のようですが、これが誤算の方が見られました。
- 東館山頂駅前で準備体操、寺子屋ゲレンデ草原を経て登山口。落差のある丸木階段を 30 分ほど登り詰めると金山沢の頭に到



- 着、樹林帯を抜け、展望のひらけた稜線にでます、岩菅山が正面に姿を現し、山頂までの登山道がくっきり見えます。真っ青な空、ウグイスの谷渡り美声を聞きながらの稜線歩きは最高でした。帰路とする一ノ瀬からの分岐、ノッキリから山頂まではガレ場の急坂がつづき、青息吐息で一時間掛けてようやく岩菅山山頂に到着しました。
- この山頂の眺望は 360° で北に苗場山、白根山、北アルプス、北信五岳と続き見えるはずの日本海や富士山は雲で見えませんでした。
- ゴンドラと 300m の登山コースを甘く考えていました。地図の上で簡単に歩けそうでした。そんな心構えでの山登りは禁物である事に身染みしました。毎年スキーに寺子屋ゲレンデより冬の岩菅山を眺めていました。山頂に立った時、憧れの人によりやく会えたようでした。
- 今シーズン初の山行幹事、初めて使う TK バス、不安もありましたが満席車内は笑顔とにぎやかな話声、初めて会う二人ドライバーの気さくな人柄に抜けるような青空、今日の山行は成功間違いなしを感じました。

「岩菅山登山に参加して」

(1678) A/W

発哺温泉、東館山、寺子屋峰と言えば、おとし、スキーで志賀高原に来たとき、起点とした懐かしいスキーゲレンデで、リフトに乗れば見渡す限りの銀世界、2月の信州は晴天が多いので、青い空に、白い山に囲まれ、新雪をかぶった木々など素晴らしい景色で、うっとりとしたところ。ところが、今回はそのうちの、ひとつの山、岩菅山を登ろうというもの、スキーの時は見るだけだったのに。期待して行きました。それに、ゴンドラを使うということなので、楽勝に登れるかな！などと思い。(これが大きな間違い)

昨日の大雨、風とは打って変わっての、全国的な晴れ、6時区役所、一路、長野へ向かいました。バスの中でリーダーの山の説明やご自分の経験など面白く話され、バス中、笑い声で楽しい出だしでした。

9時20分 ゴンドラを下りて、準備体操をしてから、まずスキーゲレンデを歩きました。ニッコウキスゲやノコギリソウがようやく枝を伸ばし始めていました。花が咲けば一面かも知れません。また、振り返れば、雲海の中から、そびえる白い頂きの山が連なって北アルプスが見えました。

10時15分 岩菅山赤石山登山口からは山道で、土が削られた段差の大きい木の階段、大きな水たまり、どろどろの道、避けて右、左へと行ったり、広くて緩い坂ではありましたが、歩きにくい道です。巨木のダケカンバ、足元はツマトリソウやマイヅルソウが群生していました。

10時45分 金山沢ノ頭に着き休憩。ここから、尾根となって、展望も開けてきました。深い山の中、谷は深くササが緑の絨毯となって広がり巨大な木々がおおいかぶさって、樹海が広がっていました。

11時 いったん下って登り返したところがノッキリ分岐で、ベンチもあります。ここから、急登が続きました。だんだんと、岩菅山が三角錐の山容で登山道をくっきり示しながらみえてきました。あと一息のような気がしました。しかし、ここからガレ場になって、一苦労でした。高山植物は濃い紫のハクサンチドリをはじめ、アカモノの群生、ゴゼンタチバナ、ユキザサ、フデリンドウなど目を楽しませてくれました。

13時15分 頂上に到着。石祠があり、山は神様の居場所だと思います。360度の展望でしたが、だんだんと雲行きが怪しくなってきた、遠い山は見えなくなりました。

13時45分 下山開始、ノッキリまで戻ってから右に折れ、一之瀬のほうに進みます。木の階段が続いて眺望は良くないのですが、花々の群生が時々足をとらせました。

15時 アライタ沢の手前で、リーダーは遅れを取り戻したと思われたのか、班ごとの写真を撮りました。アライタ沢は清らかな水が岩の上を流れていて、疲れがどっと、とれる感じです。この沢から水を引いているのか、人工の水路ができており、水路を伝って歩きました。カラマツソウ、オオバミソウ、ウズキ、レイジンソウ、タケシマランが花をつけていました。16時10分 登山口に無事到着。雨も降らず、結局、快適な山旅でした。バスに乗り込み、信州路、上越市のドライブを楽しんで新津に戻りました。



東館山ゴンドラリフト駅 高山植物園



ゴンドラリフトに乗って6分



山頂駅に降りると眼前に岩菅山が



右手には先に登る寺子屋山



寺子屋山に向け出発



スキーゲレンデを登ります







稜線からの好展望でルンルン



岩菅山の急峰、登るの大変そう



稜線は歩き易いが。。



のっきりから急登が始まります



あのガレ場辺りが厳しそうだ



急登の岩場はキツく休み休み

